

リーディングDXスクール事業【実践事例】

紫波町立古館小学校（岩手県）【協力校】

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

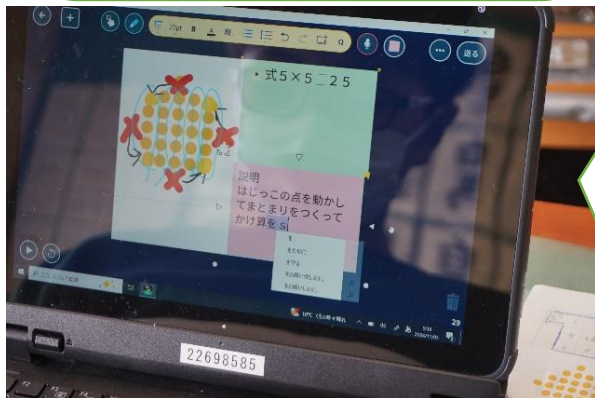
【タブレットPCの活用】4年 算数科

【題材】 計算のやくそくを調べよう

並んでいるドットの数を求める問題。かけ算の式の意味を基に、図に書き込みながら式で表したり、逆に式から考えを読み取ったりする学習。

- 自分に合った方法で考える。
 - ・ドットの数求め方を図や式に表す。

- ・教師のフォルダから児童たちがシートを取り込み、何度でも活用することができた。
- ・図に書き込んだり消したりすることができ、自由度が高い。
- ・何度もやり直すことができ、書くことが苦手な児童でも取り組みやすい。



学習支援ソフトで作成したドット図を使いながら、まとまりをついたり、矢印を書き込んだりして、考えを整理することができた。
→ノート感覚で使うことができる。

※「ドット図」「式」「説明」を1つのシートにした。

- タブレットへの書き込みはタッチペンや指などで簡単に書き込むことができ、修正も簡単にできる。
- 提出したものを全体で共有できる。

- 考えを共有する。
 - ・ペアやグループなどで考えを共有する。

- ・互いに考えを共有することで、同じ考え方や他の考え方に気が付きくことができる。
- ・その場で訂正や付け足しなどができ、交流が深まる。
- ・共有フォルダに提出することで、考え方の傾向や理解の様子がつかみやすい。

お互いの考え方を聴き合い、自分の考えに付け足したり、修正したりした。



その場でやって見せることで、苦手な児童も一緒にやりながら理解することができた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

紫波町立古館小学校（岩手県）【協力校】

【取組内容】 情報活用能力の育成

【タブレットPCの活用】 5年 総合的な学習の時間

【題材】

地域の方に指導してもらいながら、5月の田植えや9月の稲刈りを体験した。自分たちで刈り取った米を販売するため、米袋に貼るシールが必要となった。シールに記載する情報で必要なものやそうでないものなど、考えを出し合い、整理して絞り込む学習。

販売する米の名前や産地、重さなど載せたい情報を出し合い、条件に合わせながら整理した。
個人→グループ→全体

思考ツールとして

- ・イメージマップ → 知識の視覚化
- ・ピラミッドチャート → 収集した情報の整理
- ・ベン図
→ 比較（収集した情報の比較・共通点を明確にする）
- ・PMI → 振り返り

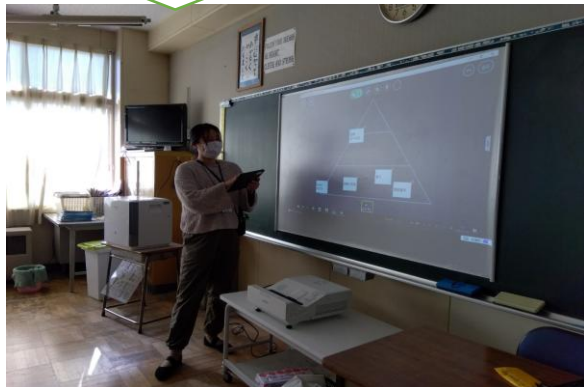
それぞれのツールのよさを説明し、活用する際の注意点を指導・支援する。

ピラミッドチャートで整理したものから、どの名前にするか話し合った。

オリジナルの米の名前、重さ、産地、電話番号など自由に出し合い、その中から本当に必要な情報だけに絞り込んだ。

- イメージマップで最終的に作りたいシールのイメージを全体で共有。
- 個人（グループ）での探究活動ピラミッドチャートを活用して整理した。
- グループで話し合い
学習支援ソフト（共有ノート）を活用し、まとめた。
→手書きからデータ化

※手書きのよさも生かしながら、タブレットに取り込み、修正



リーディングDXスクール事業【実践事例】

紫波町立古館小学校（岩手県）【協力校】

【取組内容】 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

【タブレットPCの活用】 4年 総合的な学習の時間

【題材】

福祉について学習したことを基に、さらに調べたいことについて、個人やグループで調べる。

調べたことについては、3年生にプレゼンテーションをして、福祉について広く知ってもらう。

興味をもったことや、深く調べたいことを共有して、発表に向けて資料づくりを行っている。

文字だけではなく、図や写真を取り込みながら見やすくまとめた。



- 問題解決に繋がる情報を、調査や様々なメディアから収集し、選択する。
- 情報を集めたり、発信したりする際、コンピューターを含む手段を目的に応じて活用する。
- 文章作成ソフト、プレゼンソフト等を操作する。
- プレゼンソフトを使って、相手や目的を意識したスライドをつくり、伝える。

必要な情報はインターネットからだけでなく、図書室の本や体験した時の様子なども活用した。
→お互いの情報を交流することで加除、修正できた。

※役割を分担し、プレゼンソフトを入力。

- ・相手意識をもって発信することで、資料作成の段階で、言葉を選んでわかりやすく表現することを身に着けた。



4年生の発表を見ることで、3年生もスキルアップの意欲につながった。